

## PRESTO W92tt

100 Lのガラス反応容器で  
+20 °C から最低到達可能温度まで  
冷却運転

### 目的

このケーススタディでは、プレストW92ttの最低到達可能温度を100リットルのガラス反応容器でテストします。  
W92ttは3mのメタルチューブで接続、  
+20°Cから最低到達温度に向けて冷却します。

### 環境

室温	20 °C
湿度	45 %
電源	400 V / 50 Hz

### テスト条件

ユラボ装置	PRESTO W92tt
冷却能力	+20 °C 19 kW 0 °C 15.5 kW -20 °C 9.5 kW
加熱能力	36 kW
バンドリミット	無し
吐出圧力	0.5 bar
循環液	ユラボ サーマルHL80
反応容器	100Lガラス反応容器 (ブヒーグラス社) にエタノールを70L充填
ジャケット容量	30L
制御	外部温度制御 (ICC)

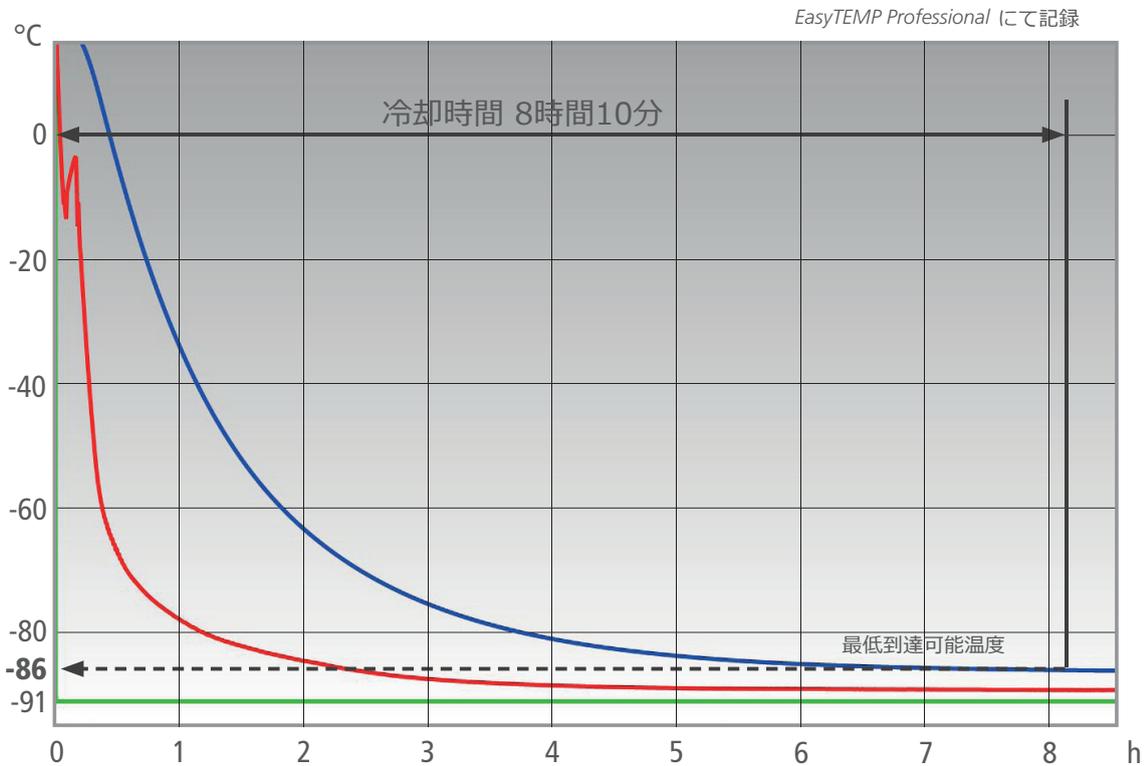
### コントロールパラメーター

Xp	0.2 K
Tn	720 s
Tv	100 s
Xpu	24 K



## テスト結果

プレストW92ttは上記のテスト条件で、反応容器内の最低到達可能温度-86℃、+20℃から-86℃の到達時間は8時間10分でした。



- 設定温度
- 反応容器内温度
- 反応容器ジャケット温度

**その他の機能**  
PRESTOの機能  
"band limit"で  
ジャケットと容器  
内部の最大温度差を  
設定し、容器を保護  
してください。  
(図を参照)

**Profile of reactor**

**オプション機能**

無償のソフトウェア  
EasyTEMPを使用し、  
装置の制御及び  
温度曲線をグラフ  
表示することが  
できます。